

ゆとりと潤いのある教育環境づくり

児童・生徒たちの健やかな成長・発達を促し、豊かな人間性を育み、また、学習をより充実したものとする上で、学校施設の整備を図ることは極めて重要なことです。

今日、学校施設は、量的整備から質的整備への大きな方向転換の時期を迎えており、学習方法等の多様化に対応できる施設、学校開放に対応した施設づくりが求められています。

市では、より豊かな教育環境づくりの構築のために、学習指導方法の多様化に対応できる施設の整備、教育の適正化を図るための過大規模校の分離新設、都市景観と合致した緑豊かな環境整備、体力向上を図るための体育施設の整備拡充、地域住民も利用できる文化性の高い施設づくりなど、計画的に学校施設の質的整備を図り、開かれた学校づくりを推進しています。

さらに、近年、地球にやさしい環境づくりの一環として、新設校の建設や既設校の全面改築の際には、校舎等の屋根の雨水を集めトイレの洗浄水として再利用する中水道設備の

整備を進めるとともに、高度化・複雑化している現代社会において精神的な不安、ストレスを受けやすい子供に「生きる力」と「ゆとり」の教育を展開できる施設として、カウンセリング室を整備しています。また、10年度に開校した桜木東小学校には、

食中毒防止対策として、初めて給食調理室にドライシステムを導入しました。

今後も、心身共に健全な児童・生徒を育成するために、ゆとりと潤いのある教育環境づくりを推進していきます。



桜木東小学校

豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

学校施設

GAKKO-SHISETSU



豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

青少年の健全育成

SEISHONEN-KENZEN IKUSEI



親子で江津湖の自然観察を体験学習

21世紀を担う青少年が心身ともに健やかに育つよう、家庭・地域社会・学校が連携を取りながら、一体となって取り組む必要があります。

1. 健全育成活動の推進

青少年健全育成活動の活性化を図るため、家庭教育の充実や青少年の自主活動・社会参加の促進に努めます。

また、健全育成環境づくりとして、児童育成クラブの開設、青少年補導センター活動やヤングテレホンをはじめ、いろいろな教育相談の充実などに取り組んでいます。

2. 青少年施設の整備充実と交流の推進

青少年施設として、金峰山の中腹に「金峰山少年自然の家」、阿蘇大観峰の麓に「あそ教育キャンプ場」、出水2丁目に「総合体育館・青年会館」、新町1丁目に「子ども文化会館」が



桂林の高校生との交流

あります。

また、桂林市やサンアントニオ市、ハイデルベルク市の友好姉妹都市との青少年相互交流、文化スポーツ交

流、交換留学、また、九州各都市との中学生交流、福井市との小学生交流など国際・国内交流にも力を入れています。

HAPPINESS KUMAMOTO



人づくり基金研修成果の発表

豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

創造的な人づくり SÔZÔTEKINA-HITOUZUKURI

人づくり基金

高齢化、国際化、情報化が進展する現代の社会は、価値観が多様化しています。このような中、時代に流されない、広い視野、豊かな感性を持つ人材が必要とされます。

多くの市民の方々から寄せられた浄財を基金として創設された「熊本市制100周年記念人づくり基金」では、さまざまな分野で、それぞれの本分を通して真に社会に貢献する熱意と知性に溢れた人材を支援しています。

これまで110件の個人・団体の方々が援助を受け、ふるさと熊本のため、研鑽を積み、ご自身の発展と共に次代の人々を育成されています。



彫刻の研修風景

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

消費者行政 SHÔHISHA-GYÔSEI

消費者センターでは、市民のみならずの生活をより安全に、より豊かにするため、消費者セミナーや移動講座の開催により、啓発事業や消費生活に関する情報収集・提供、また消費者団体の育成などに積極的に取り組んでいます。

消費生活相談コーナー

消費生活に関する相談窓口を開設し、苦情や問合せにおこたえします。

平成9年度に消費者センターに寄せられた消費生活相談は3,429件で、10年前に比べ約2.5倍に増えています。

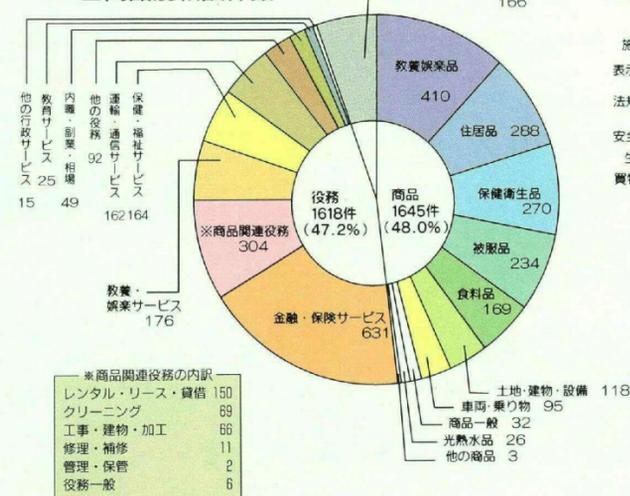


消費者セミナー

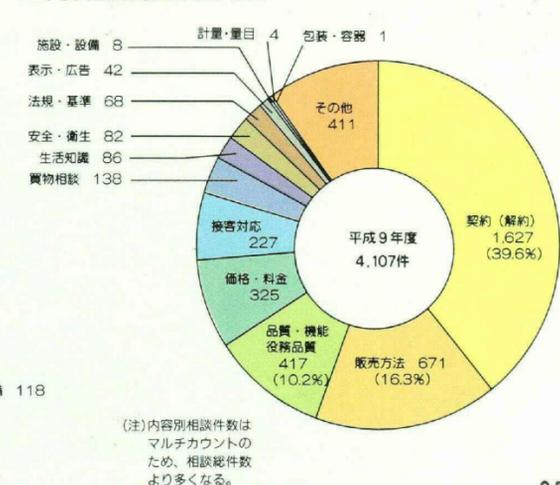


消費者フェア

商品別相談件数



内容別相談件数内訳



HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

男女共同参画社会

DANJYO KYODÔ SANKAKU SYAKAI

熊本市総合女性センター

男性も女性も共にいきいきと暮らす、調和のある市民社会の実現を目指して、男女の自立や社会参画のための活動と交流の拠点として、また市民文化振興の拠点施設として平成2年4月オープン以来128万人（平成10年1月現在）を越える方々にご利用いただいております。センターでは、女性を取り巻く社会問題を解決するために、講演会やセミナーの開催、相談室の設置、ファミリーサポ

ートセンター（熊本）による子育て支援活動、また、女性に関する情報の収集提供等とおし、あらゆるライフステージにおける女性の生き方を応援しています。また、センターから生まれる文化と人を目指して、地域に根ざしたいろいろな文化振興事業を展開しています。

男女共同参画社会

女性と男性が、あらゆる分野に参画し共に責任を担う社会を目指し、性別による固定的な役割分担の見直

し、職場・家庭・地域などあらゆる分野における参画の男女の格差の是正、審議会・委員会等における女性の登用推進などに取り組んでいます。

このような男女共同参画社会の視点に立った施策の展開は、平成4年に『くまもと市女性プラン』を策定し全庁的に取り組んでいます。

また、地域等での出前講座の開催、情報誌や啓発資料の作成・配布など、学習や啓発を通して男女平等及び人権尊重意識の浸透に努めています。



くまもと女性フォーラム'98



HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

国際交流

KOKUSAI-KÔRYÛ



1997 国際交流イヤーエンドパーティー



熊本市民友好の翼(訪中)市民交流会

21世紀に向けて、世界に開かれた国際交流拠点都市を目指す本市は、中国・桂林市、アメリカ・サンアントニオ市、ドイツ・ハイデルベルク市をはじめ、諸外国との友好交流を進め、経済、教育、文化、スポーツなど、さまざまな分野で活発な交流を展開しています。その友好の絆は市民レベルにも交流の裾野をひろげ、

本市の国際交流の大きな推進力になっています。このような中、平成10年度は、一昨年に実施した国際化に関する市民意識調査をもとに、学識経験者、在熊外国人、国際交流団体等の意見をふまえ、本市の国際化に係わる諸施策を長期展望に立って、総合的かつ具体的に体系化し、国際化施策の計

画的な推進を図るための熊本市国際化指針（仮称）の策定に取り組みました。

地方の国際化がますます進展する中、市民を主体とした柔軟で時代に即応した国際化施策を積極的に展開していきます。



ハイデルベルク市への高校生訪問団派遣



交流ラウンジでの相談受付

中国・桂林市

我が国と一衣帯水の間柄にある隣国・中国桂林市とは、昭和54年10月の友好都市締結以来、幅広い分野にわたり交流事業を展開しています。

平成10年度は、明年友好都市締結20周年を迎えるにあたり、記念事業について事前協議を行うための代表団の相互派遣をはじめ、継続事業である桂林市派遣留学生の受入れ、熊本市高校生友好訪問団や市民友好の翼の派遣など、更なる友好と相互理解を深めました。

また、平成10年4月から福岡ー桂林定期航空便が就航し、両市の往来が一段と便利になり、両市の交流も益々活発になるものと予想されます。

アメリカ・サンアントニオ市

昭和62年の姉妹都市締結以来、教育、医療、スポーツ、経済等の分野

において、活発な交流活動を進め、平成9年度には姉妹都市締結10周年を迎えました。

平成10年度には、交換留学生の派遣、英語教師派遣、青少年のスポーツ交流など人的交流を行い、相互理解を深めるとともに、これまでの友好関係を礎とした民間レベルの個性あふれる事業を支援するなど、両市の親善交流の推進に努めています。

また、サンアントニオ市の最先端医療技術を習得するため、医師や看護婦の研修派遣も継続して実施しています。

今後も、多種多様な交流事業を行い、両市の絆を深め、市民レベルでの交流を促進していきます。

ドイツ・ハイデルベルク市

平成4年5月、本市とハイデルベルク市は、「平和と環境に対する共

通の責任」を理念とする友好都市の盟約を結んで以来、教育、医療、スポーツ、環境などの分野において活発な交流を展開しています。

平成10年度には、ハイデルベルク市少年バスケットボール親善訪問団の来熊、熊本市青少年交流訪問団の訪独などの青少年交流をはじめ、医師・看護婦の相互派遣、更に地下水汚染物質の低減化対策のための地下水かん養域保全に関する技術交流を開始するなど、活発な交流が行われました。

今後も、お互いの進んだ技術や諸制度を学び合いながら、両市の発展に努めて参ります。

熊本市国際交流会館

国際交流の拠点施設として、1994年9月にオープンした熊本市国際交流会館は、4ヵ国語同時通訳機能を

備えた国際会議室とホールや、語学研修室、会議室、レストラン更にはアスレチックジムなどを有し、国際会議、各種講演会、シンポジウム等に幅広く利用されています。また、2階の交流ラウンジには、国内外の新聞、雑誌、ビデオ、CNNテレビ、インターネットなどによる情報サービスコーナーや、海外留学、日常生活についての相談窓口が設けられ、交流と憩いの場となっています。

この会館の管理運営を委託された財団法人熊本市国際交流振興事業団は、国際理解講座や日本文化体験、日本語教室の開催をはじめ、市民友好の翼の派遣、FMラジオの国際交流番組放送など、多彩な事業を展開しながら、地域の国際化の醸成に取り組んでいます。

HAPPINESS KUMAMOTO

熊本市では、地域における人と人とのふれあい、交流を活発にし地域コミュニティの活性化・再生を図ることを目的に、市民の創意工夫による自発的で主体的なまちづくり活動を応援しています。

まちづくり委員会・まちづくり研究会

小学校区を単位として、地域の特性を活かし自主的にまちづくり活動を行う住民組織「まちづくり委員会」及びその準備的組織「まちづくり研究会」が市内全小学校区（80校区）で設置され、「市民主体のまちづくり」が推進されることを目標としています。

まちづくり活動の支援

平成8年度から「まちづくり活動支援事業」に基づき、組織づくりから実践活動までの過程で、①活動費の助成②指導者・助言者の紹介や交

流の場の設定③まちづくり情報の提供や活動事例の紹介④リーダー研修・モデル事業などの支援施策を実施しています。

平成10年度は、まちづくり委員会が14校区に及び、各委員会とも自ら

の地域の特徴を活かしたテーマに沿って、1年を通じ多彩な活動が展開されています。また、まちづくり研究会も15校区で発足し、委員会設立へ向けた組織づくりや研究活動が行われています。



熊本港花いっぱい計画(中島校区まちづくり委員会)

豊かな人間関係を保つ
「心のかようまちづくり」

市民参加のまちづくり

SHIMIN SANKA NO MACHIZUKURI



すり鉢舞ニューバージョン
(五福ふれあいまちづくりの会)



まちづくりウォッチング